

# 情報処理

Vol. 30, No. 10 (1989年10月)

---

## 目次

---

——大特集：「自然言語理解」——

大特集「自然言語理解」の編集にあたって	天野真家	1141
1. 自然言語理解の歴史と現状	辻井潤一	1142
2. 自然言語理解の構造		
2.1 理解のメカニズム	安西祐一郎・神岡太郎	1150
2.2 理解の表現	野村浩郷	1161
3. 自然言語理解の基礎		
3.1 形態論	日高達	1169
3.2 構文論	郡司隆男	1176
3.3 意味論と語用論	新田義彦	1182
4. 文脈理解		
4.1 文脈のための言語理論	田窪行則	1191
4.2 文脈理解のモデル	片桐恭弘	1199
4.3 文脈理解の効果	村木一至	1207
5. 意図の理解	飯田仁・相沢輝昭	1216
6. 自然言語理解のための知識表現と推論		
6.1 知識表現	浮田輝彦・木下聡	1224
6.2 推論	西田豊明	1232
7. 自然言語理解システムの実例		
7.1 文脈情報翻訳システム CONTRAST	石崎俊・井佐原均	1240
7.2 談話理解実験システム DUALS	橋田浩一・杉村領一・田中裕一	1250
7.3 要約支援システム COGITO	安原宏・小松英二・日比孝・加藤安彦	1258

---

論文誌梗概	1268
会議案内	1271
雑報	1272
日本学会議だより	1274
著者紹介	1275
研究会報告	1278
情報技術標準化のページ	1281
本会記事	1282

---